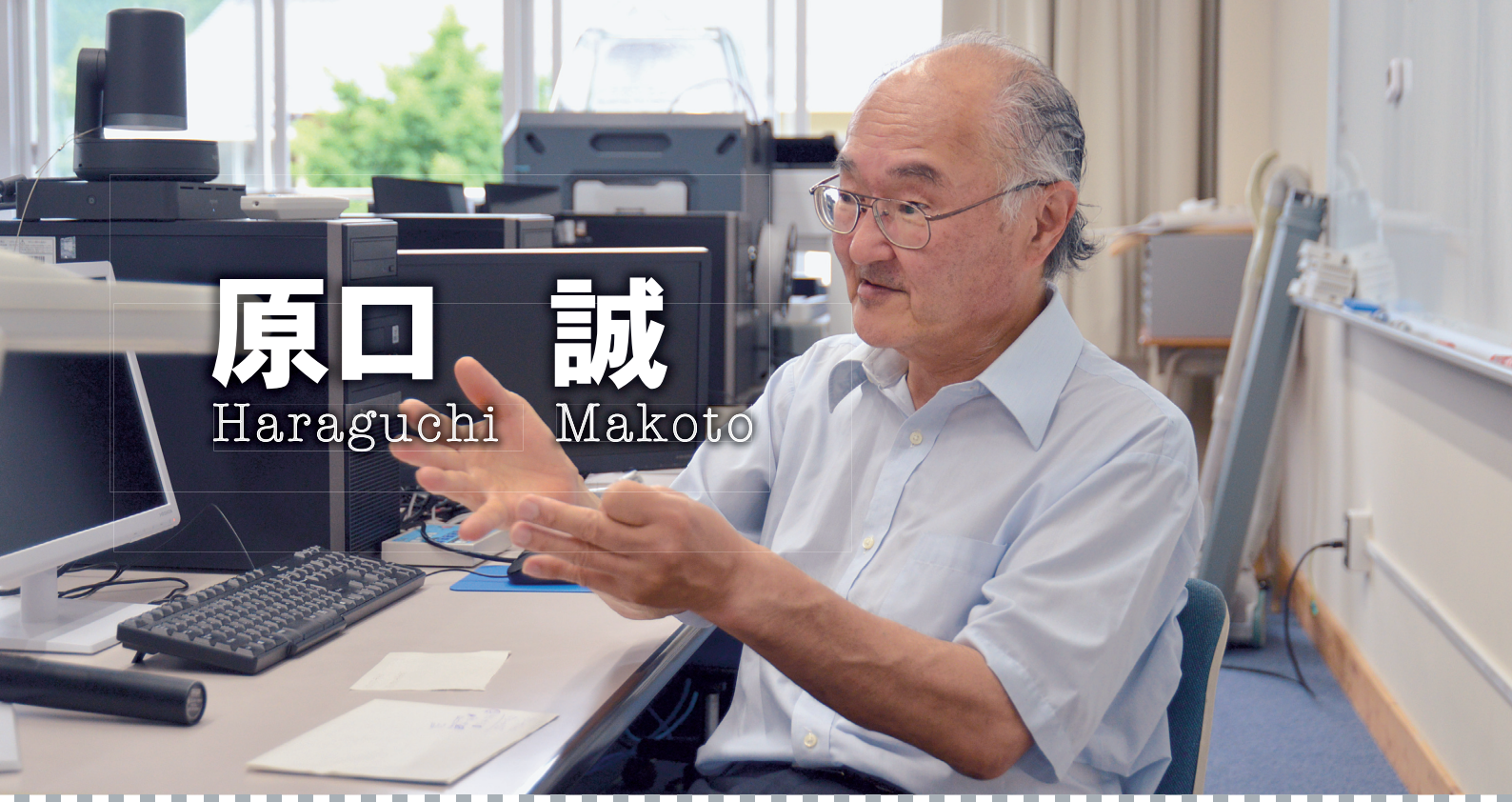

原口　誠
Haraguchi　Makoto

真庭人
MANIWABITO

興味を持ってもらえる授業を目指して

今年度から勝山高校の非常勤講師になった原口さん。真庭に来てみると、故郷の佐賀県小城郡小城町（現小城市）と似ていて、親近感を覚えたそうです。

原口さんは、今年度入学した生徒から必修となった、情報Ⅰの授業を教えています。この授業はチームティーチングを行っており、教員も互いに教え合い、より良い授業にしようと試行錯誤を重ねながら進めているそうです。授業を行うにあたっては、生徒の持っているものを引き出すことを心がけているとのこと。興味を持ってもらえる授業、面白いと思ってもらえる授業をやりたいと思っており、「ついてこれなくなる生徒もいます。それをいかに防ぐかを考え、修正を心掛ける毎日です」と話します。

何度も失敗しながらやっていきましょう

原口さんは、昨年11月に真庭にできた、まちと学びのイノベーション研究所の顧問を務めています。研究所の理念は、地域と一体化した学びの場を作ること。高校という学びの場を拡大するために、何らかの形で高校生がまちに出るような探求型の学習を目指しています。「予測不可能、答えがない時代である現代は、一通りではない答えを創ることが求められています。それはとても苦しいが、とても楽しい。試行錯誤して、失敗してもそれを許容して。これはダメだったから、これは失敗したからこうしようという議論につながります」それが大切なことだと教えてくれました。

「簡単には答えは見つからないかもしれないから、何度も失敗しながらやっていきましょうという文化を形成していくことが大事だと思います」と力強く話してくれました。

勝山高校で情報Ⅰを教えています

まちと学びのイノベーション研究所の顧問を務めています

原口　誠さん（久世）

佐賀県小城町（現小城市）出身。
九州大学修士・博士（理学）。東京工業大学システム科学専攻助教授、北海道大学工学部・情報科学研究科教授を経て現在、北海道大学名誉教授。まちと学びのイノベーション研究所顧問。今年度4月から勝山高校の非常勤講師として情報Ⅰを担当。

まにわびと 33 2022